

Lモジュール

(ラーニングモジュール国語・算数中心)

Eモジュール

(イングリッシュモジュール)

埼玉県

戸田市立戸田東小学校

教諭 高橋 健太

教諭 鈴木 理紗

目的

“お勉強”ではない
『**できた！わかった！**』
積み重ね



成功体験

“**動⇔静**”
ユニットで
切り替え練習



集中力

朝から**テンポ**よく、
発声することで心身共に
エネルギーを発散！



脳の活性化

成功体験

学力の基盤
= スポンジ



自己肯定感

創造力

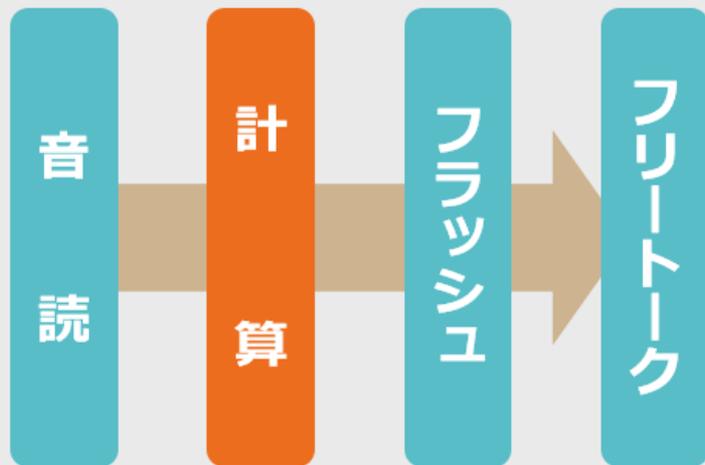
自学力

コミュニケーション力

協調・協働力

モジュールの概要

Lモジュール



実施学年：1～6年生

日時：週2回

各15分間

Eモジュール



実施学年：3～6年生

日時：週2回

各15分間

(授業時数にカウント)

Lモジュールの効果

音読パート (動: 発音)

『雨ニモマケズ』 宮沢賢治
雨ニモマケズ 風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ
丈夫なカラダヲモチ
欲ハナク 決シテ唄フ
イツモシツカニラッテキル
一日ニ玄米四合ト
味噌ト少シノ野菜ヲタベ

音読パート

- ・ 日本語の美しい響きやリズム・古典など、耳で聴いて慣れ親しめる。
- ・ 言葉へのハードルを下げるができる。(中学校以降)

フラッシュカード (動: 発音)



フラッシュカード

- ・ ゲーム感覚で単語を習得できる。
- ・ 地名や熟語、慣用句など、意味理解をもとめず、音で覚えられる。
- * 自学習に生かす児童もいる。

計算パート (静: 集中)



算数パート

- ・ 反復練習を通して、計算スキルを定着できる。
- ・ タイムで視覚的に自分の成長を実感できる。

フリートーク



フリートーク

- ・ 話型なしで、話し合えるようになる。
- ・ 多様な意見に触れることができる。
- * 教科学習での対話に活気がでる。

Eモジュールの効果



astronaut

ボキャバ (Vocabulary part)

- ・授業で扱う単語をリズムに合わせて、声に出して覚えることができる。

What do you want to be?
I want to be a nurse.
What do you want to be?
I want to be a writer.
What do you want to be?
I want to be a baseball player.



チャンツパ (Chants part)

- ・チャンツで英文のリズムに慣れる。

聞き方
What do you want to be?
あなたの将来の夢は?

答え方
I want to be a ○○.
わたしは○○になりたいです。



アンサバ (Answer part)

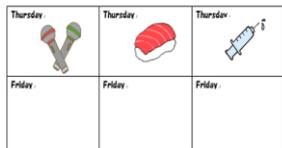
- ・受け答えの文章に口を慣れることができる。

ライブ 【5年級1月】 文庫をなぞり、読むからおかわりへ
1. 文庫
Where are you born?
I was born in England.
Where did you grow up?
I grow up in London.
Is this your first time in Japan?
Yes, I am.
2. 文庫
How much is it?
It's one dollar.
How much is it?
It's five dollars.
How much is it?
It's ten dollars.

ライパ (Writing part)

※5・6年のみ。

- ・チャンツパの英文をなぞり、書くことに慣れ親しむ。



ドロバ (Draw part)

- ・キーワードを聞いて絵イメージをもつ。

トラパ
～リズムに合わせて歌ってみよう!～
ラストだよ。
トライ!!そして
エンジョイ!!!!

トラパ (Trying part)

- ・歌で英語の文化に親しむ。

児童の変容 (先生方の所見)

相手の意見を
受け止められる
ようになった！

話し合いで
シーンとすることが
なくなった！

短時間で切り替える
練習になる！

認める時間
ができた！

朝から活気
がでる！



自然と語彙が
増える！

「間違えてもよい」
雰囲気がつくれる！

高い集中力
を保てる！

考察・今後の展望

・ 花まる学習会と協力

全職員を対象にモジュールの時間を視察してもらい、スキルアップを目指す。

→客観的なアドバイスを活動に活かすことができた。

→よい実践を共有することができた。

・ 教科学習との関連

校内でモジュールプロジェクトを設立し、各学年の担当教員が教材を選定する。

→児童の実態に合わせた教材を準備することができる。

・ アンケート実施による効果の可視化

年度末に教員と児童対象に調査予定。